



Rolling Girl

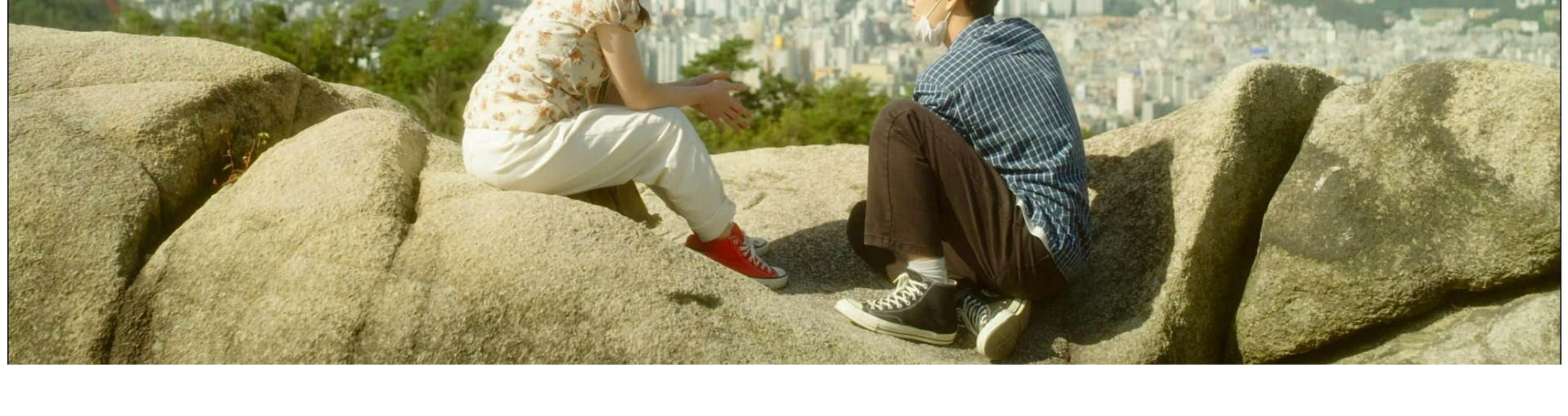
ローリングガール

2.2 [Fri] シネマート新宿 他
©2024 TBS
말아

INTRODUCTION

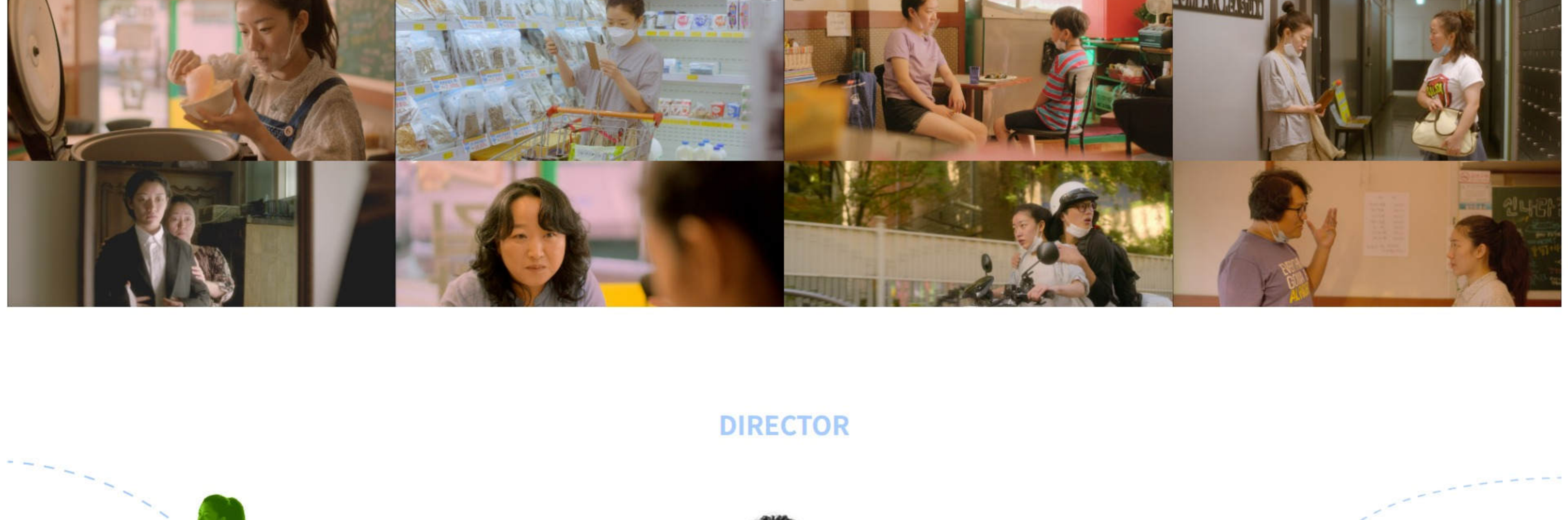
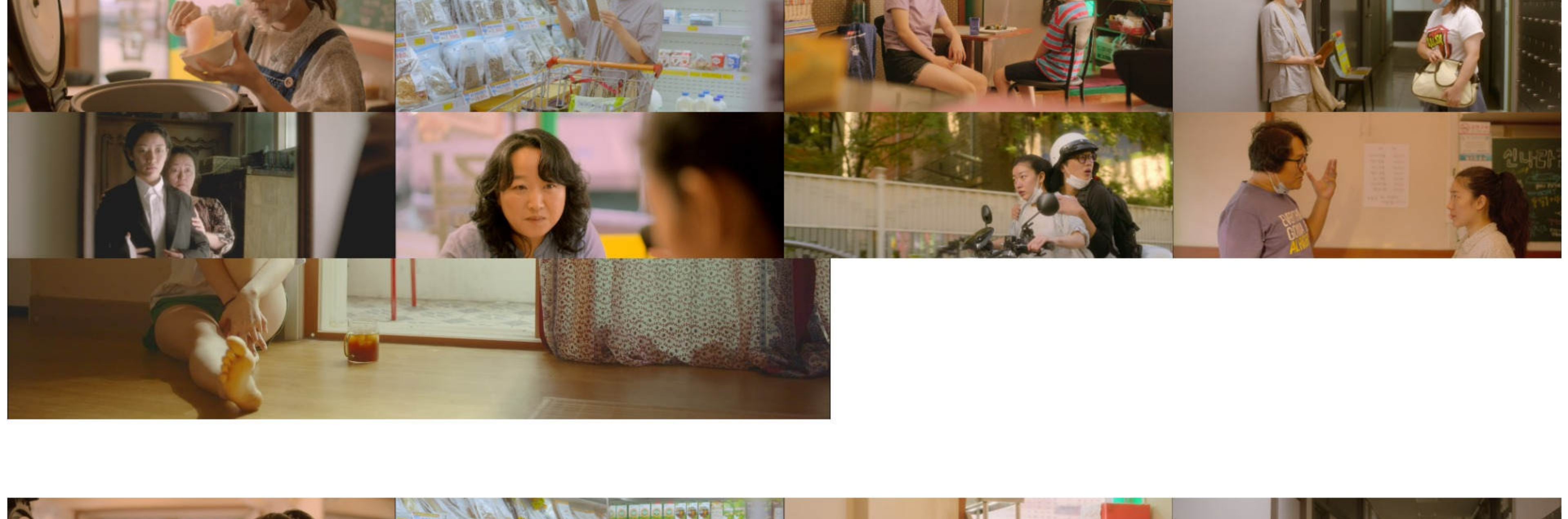
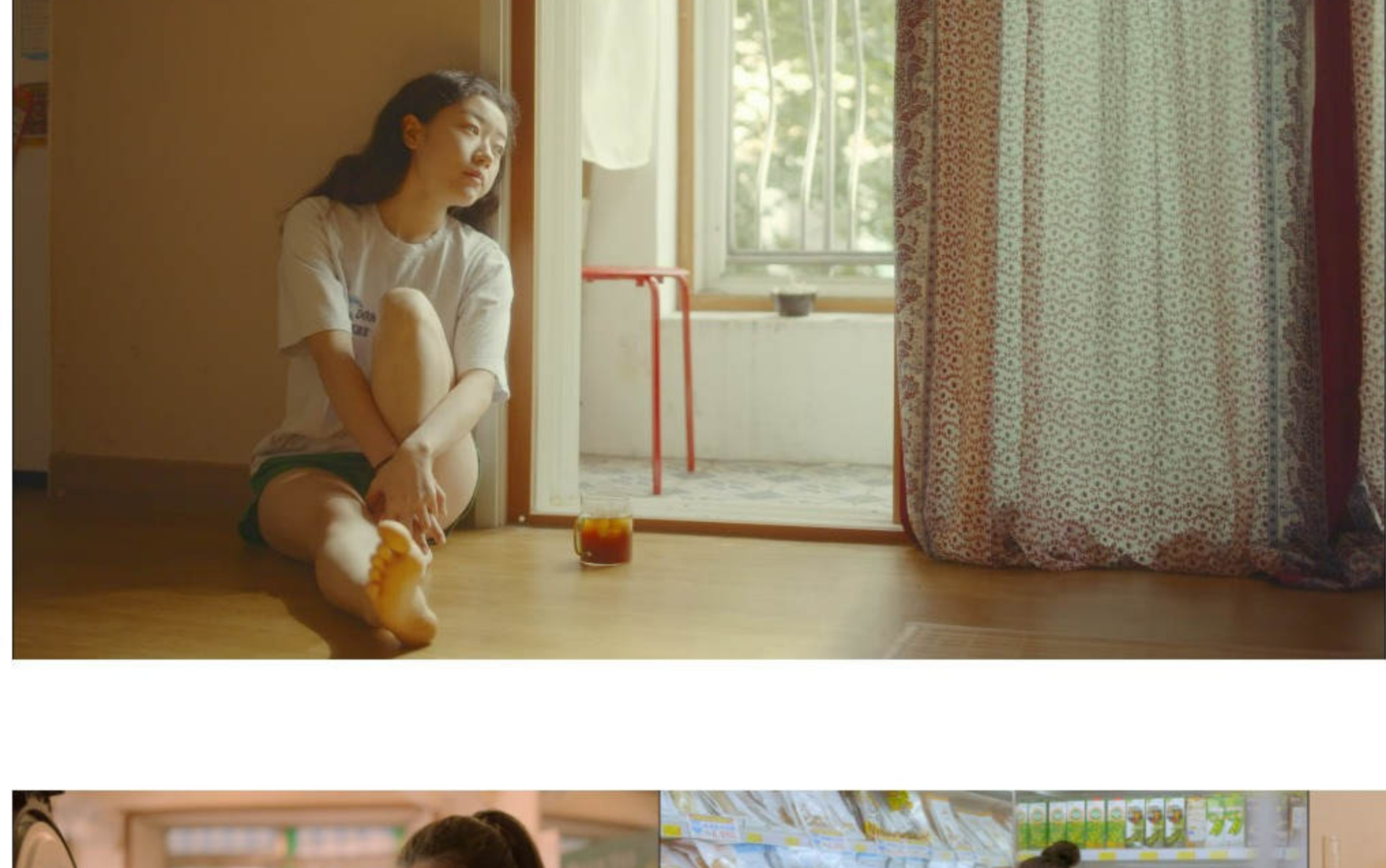
母から突然任されたキンパ店の店番。
 私、作り置きえ知らないのに。

コロナ禍で、引きこもりのジュリ（シム・ダルギ）が母に店番を任されたことをきっかけに、元氣と希望を取り戻すまでの過程を描くヒューマンドラマ。メガネをかけたのは、本作が初の長編となる新進気鋭の監督、クァク・ミンスン。ハンジミン、曹恩と軸合うことで受ける確、確外感や不安などによって、心身ともに磨かれた現代人に重しと寄り添う。主演のシム・ダルギは、「9番目の男」「ムービング」「私たちのブルース」「未成年裁判」などの映画やテレビドラマで、その字は抜けた演技力が評価されている実力派女優。本作で演じるジュリは、ニート生活をやりつつも暮らしやすく、どこか懐かしい愛すべきキャラクターで、ストーリーが進むほどにストーリーに惹きつけられていく。本作は第2回ジョンジュ国際映画祭に正式出品、第47回ソウル独立映画祭フェスティバル・キュイス部門に選出されている。



STORY

世界中で新型コロナウイルスが蔓延するなか、25歳、無職のジュリ（シム・ダルギ）は、人との交流を避けて家に引きこもっていた。彼女の母親のヨンシム（ジョン・ウンボヨン）は、新しい状況のなか、キンパの店「シムラキンパ」を経営している。ある日、ヨンシムが病気の祖母の看病のため店を離れることになり、キンパの作り方もわからないジュリはしぶしぶ店番をする。パン屋のおばさん、大人びた少年、たくあんを嗜む常連の青年……。店を拠点に様々な人と出会い、交流が生まれ、日常が一定するジュリ。店番として毎日を送る中で少しずつ、彼女も変わっていく。

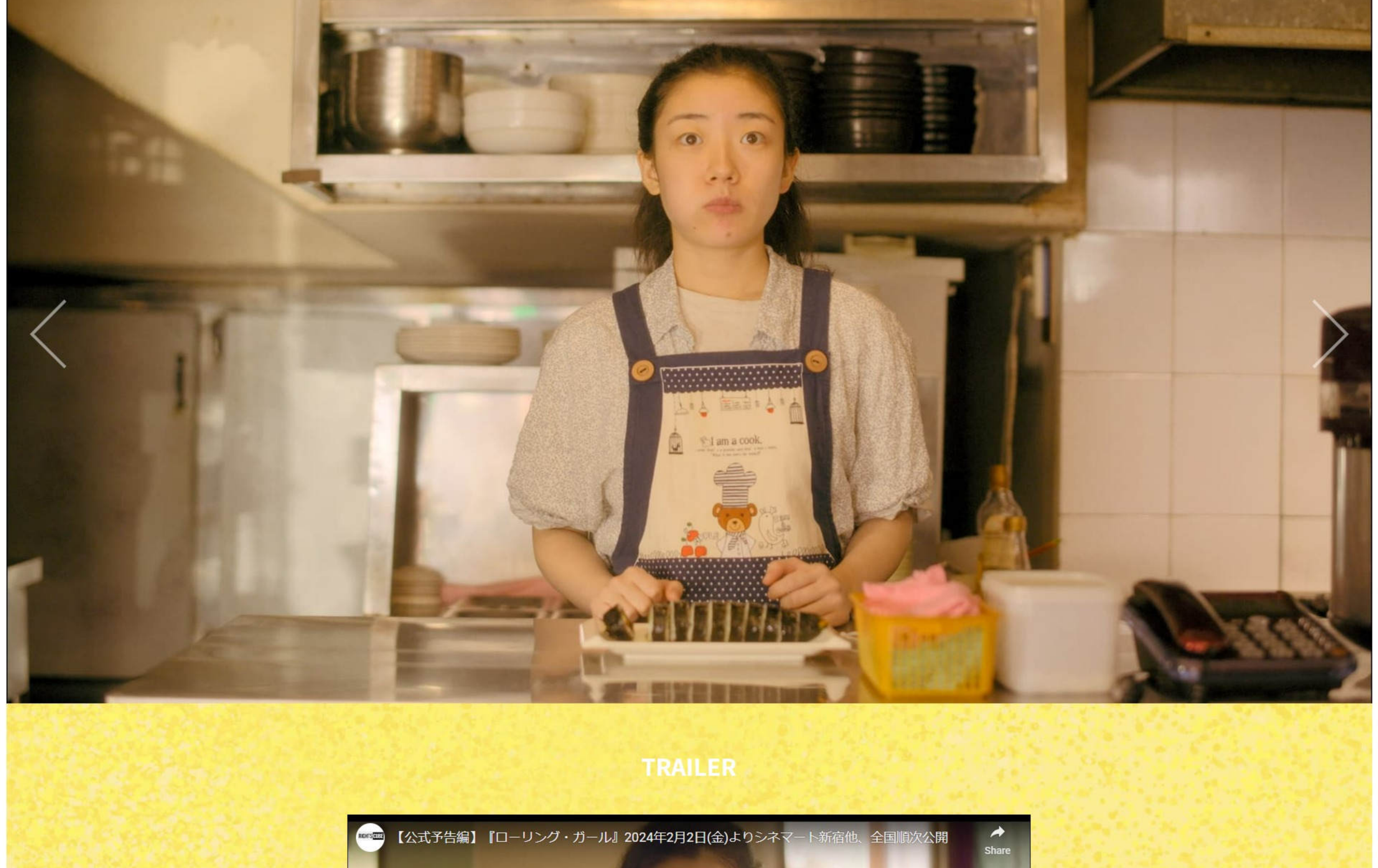


DIRECTOR

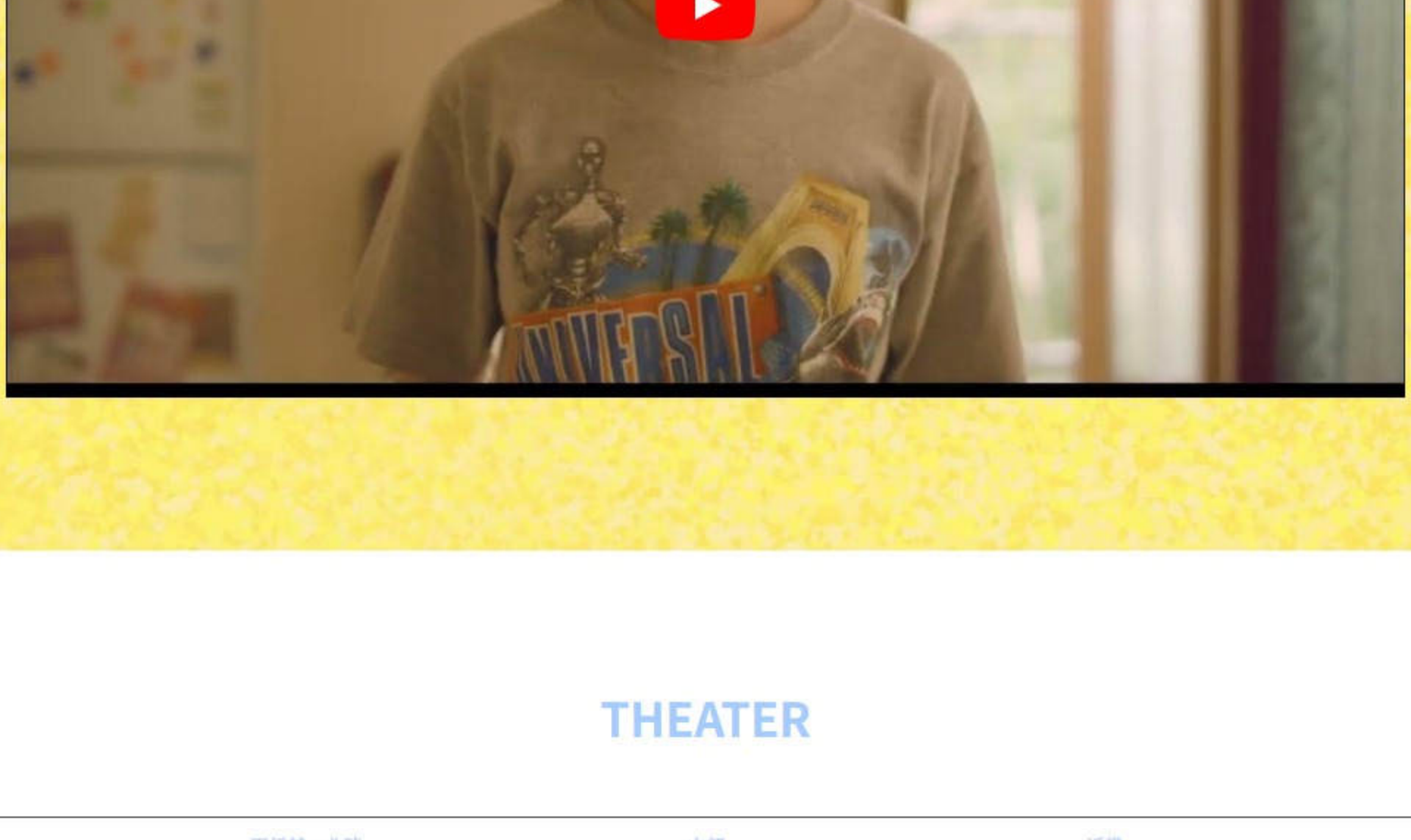


クァク・ミンスン 監督

1986年生まれ。大学で作曲と映画を学び、2011年に韓国映画で演出デビュー。そして短編映画『The Way Home』(2013年)で第10回ソウル独立映画祭最優秀新人監督賞と年間最優秀監督賞を受賞。続く『顔』に注目を集める監督家としての歩みを進める。『シムラキンパ』は、2世代の視点から、愛の関係を掘り明かす。または手話と聞くのではなく、互々とのままに接するしながらも愛の関係を表現に導く手法が評価されており、度々有名な海外映画祭の作品群を築き上げた。本作が初の長編作品となり、監督の個性が濃く表現された作品となっている。



TRAILER



THEATER

北海道・東北 関東 甲信越・北陸 中部 近畿 中国・四国 九州・沖縄

北海道・東北

都道府県	劇場名	公開日	前売券
—	—	—	—

関東

都道府県	劇場名	公開日	前売券
東京	シネマート新宿	上映終了	—
神奈川県	あつぎのえいがかんこ劇場	上映終了	—

甲信越・北陸

都道府県	劇場名	公開日	前売券
長野	長野市石巻劇場	3/2(金)～	—

中部

都道府県	劇場名	公開日	前売券
愛知	シネマズユウレ	順次公開	—

近畿

都道府県	劇場名	公開日	前売券
大阪	シネマート心斎橋	上映終了	—
京都	京都シネマ	3/8(金)～	—
兵庫県	Cinema KOBE	3/2(金)～3/29(金)	—

中国・四国

都道府県	劇場名	公開日	前売券
—	—	—	—

九州・沖縄

都道府県	劇場名	公開日	前売券
—	—	—	—

Rolling Girl

ローリングガール

